

機械学習活用による受発注業務の効率化及び負担軽減(卸売事業) ～機械学習を用いた共同研究実施報告～

島根県松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ4F
公益財団法人しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター 担当：白菊
連絡先：0852-61-2225 e-mail：itoc@s-itoc.jp

県内初の機械学習を用いた業務効率化の実例です。
是非、ご一読をお願いいたします。
ご興味・ご関心がございましたらITOCの白菊までお問合せください。

【機械学習活用による受発注業務の効率化及び負担軽減(卸売事業)】

- 研究テーマ：卸売事業における受発注データの分析
- 目的・内容：受注データ分析と機械学習を用いた受注予測による発注業務効率化と担当者の負担軽減
- 背景：約700アイテムもの受注管理データと在庫情報から人により発注量を算出し、発注業務を行っていた。このため、業務負担が大きいことと、過剰在庫となることが課題となっていた。
そこで、受注データを機械学習により学習し、一ヶ月間の受注量を予測することで発注業務の効率化と在庫の最適化が測れると考えた。
これを実現するため、ITOCへ相談いただき本研究を行うこととなった。

※詳細は、「しまねソフト研究開発センター」のホームページをご覧ください。

(<https://www.s-itoc.jp/news/notice/783>)

